

技術開発部報告書情報シート

記入年月日: 2008年7月28日

情報No.	K-08-3	情報区分	プラ処理協研究報告			
題 名 報 告 書 名	より理解され易いLCA手法（製品バスケット法）の研究					
報 告 年 月	2008年3月	ペーヅ 数	99	著者・出版元	プラ処理協	

【キーワード】

処 理 方 式	マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、分別 収集方法	要 素 技 術	LCA、環境負荷評価
樹 脂 類 別	ポリプラ、PS、PE、PP	化 学 物 質 名	
形 状 別	容器包装	用 途 別	容器包装
法 規 制	ポリ法	国 別	日本

調査 研究 内容	当協会では、ライフサイクルアセスメント（LCA）を使った使用済みプラスチックの処理手法の環境負荷比較評価を継続的に実施し、公表してきた。この中で、LCAの手法である「製品バスケット法」について理解しづらいという意見も聞かれ、より広くLCA結果を周知するためには、より理解されやすいLCA手法が求められていた。 本報告書は、これまで当協会が行ってきた製品バスケット法を用いたエコ効率分析における環境影響評価部分で、LCI分析を用いた各処理手法の比較方法として、(1)リサイクルによる環境負荷削減効果比較、(2)再資源化物代替効果を考慮した環境負荷比較、(3)全処理手法の一括環境負荷比較という3種類を行ったものである
調査 研究 結果	上記3手法を比較評価したところ、それぞれに、一長一短があることが判った。 このことから、リサイクル手法の環境負荷をLCAで比較評価する場合、その目的、制約条件、報告する対象者が持つ知見などによって最適な計算方法を選択する必要があると考えられた。 今後、できるだけ多くの方にLCAを使った環境影響評価結果を聞いていただく機会を設定し、こういった場合にどの手法で評価するのが理解され易いかに関する知見を蓄積し、当協会のLCA活動成果をより多くの方に理解していただけるよう努めていきたい。
備考	